

☆次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

きょうはまた水泳がある日です。それも一時間目です。朝おきて服を着がえながらそのことをおもっただけで、もうよしろうのおなかは **I** いたみはじめました。のろのろと台所へ行って、のろのろと朝ごはんを食べはじめました。

お母さんはだまって、 **II** よしろうを見つめています。お母さんは、よしろうにせめてプールの中に入ってほしいと思っています。掛

このまえ体育のあった日、学校から帰るとお母さんはすぐによしろうの手さげの中をたしかめました。そして、「きょうもプールに入らなかつたのね。海水パンツがぬれていないもの」と、い

ました。  
よしろうはだまっていました。なんといいたらいいかわからなかつたからです。プールのころをいわれただけで、胸がもやもやとしてくるのです。

「泳がなくてもいいから、みんなといっしょにプールに行って、まずプールの中に入ってごらん。水になれなくちゃ、いつまでたっても泳げないわよ。もう二年生なんだから、いやなことからはげちゃだめよ」  
そうもお母さんはいいました。

そのことを思い出しただけで、よしろうの胸はもうどきどきしはじめました。ごはんもなんだかのどをとおりません。

お母さんはなににもいわずに、よしろうのはしの動きをじっと見つめているだけです。よしろうのおなかがぎりりといったみました。よしろうはどうとうごはんをのこしてしまいました。お母さんは小さなためいきをひとつつきました。

よしろうは海水パンツの入った手さげをもって家を出ました。学校へむかう足は重く、よしろうはのろのろと歩きました。ほんとうはきょうは学校へなんか行きたくないのです。家のふとんの中でじっとかくれていたのです。水泳なんてだいきらいなのです。

学校についてみると、朝の会はもう終わっていました。ちこくでした。みんなはもう水着に着がえはじめています。それを見るとき、とたんに、よしろうのおなかはぎゅつといたくなりました。「よしろうくんは、きょうはどっち？ プール？ それとも保健室？」

だれかが聞きました。  
よしろうはこたえることもできなくて、そっと教室を出ると、保健室にむかいました。なんだか、自分だけが悪い子になったよ

(岩瀬成子『小さな小さな海』より)

問1 この文章を前半の場面と後半の場面に分けるとすると、後半の場面はどこから始まりますか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア Ⅱ線2 「よしろうは」から。
- イ Ⅱ線3 「学校に」から。
- ウ Ⅱ線4 「だれかが」から。
- エ Ⅱ線5 「よしろうは」から。

問2 Ⅱ線1 「このまえ体育のあった日」にあったことがえがかれているのはどこまでですか。その直後の部分の五字をぬき出しましょう。


問3  I、IIにあてはまることばを次から一つずつ選び、それぞれ記号で答えましょう。

- ア こそこそと
- イ じっと
- ウ しくしくと
- エ ゆっくり

I	II
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問4 Ⅱ線①「お母さんは、よしろうにせめてプールの中に入れてほしいと思っていてるのです。」とありますが、「せめて」ということばから、お母さんはほんとうはよしろうにどんなことをしてほしいとわかってるかわかりますか。文章中から一

語の名詞をぬき出しましょう。

問5 Ⅱ線②「お母さんは小さなためいきをひとつつきました。」とありますが、このときのお母さんの気持ちを表したものを次から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア よしろうはきょうもプールに入らないだろう。
- イ よしろうはきょうはプールに入るかもしれない。
- ウ よしろうはそのうちプールに入るようになるだろう。
- エ よしろうはこれからも絶対にプールに入らないだろう。



問6 Ⅱ線③「それを見ると、とたんに、よしろうのおなかがぎゅっといたくなりました。」とありますが、このときよしろうのおなかがいたくなったのはなぜですか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

- ア ちこくをしたのがはずかしいから。
- イ 早く着がえなくてはいけないから。
- ウ 水泳の時間がせまってきたから。
- エ 保健室に行くのがいやだから。